

# 特別調査「平成20年度の決算状況等について」

ここでは、平成20年10月から平成21年9月までに期末を迎えた、もしくは期末を迎える決算を、平成20年度の決算とさせていただきます。

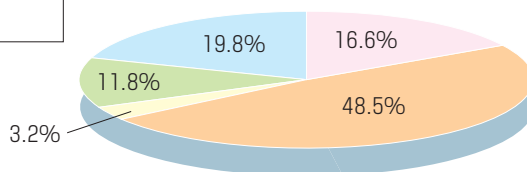
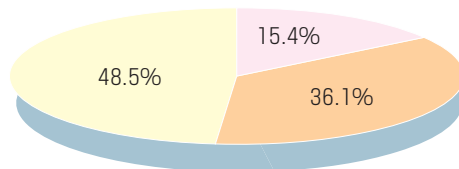
## 問1

貴社の平成20年度決算の売上額は、平成19年度に比べおおよそどのようなようになった、もしくは、なると見込んでいますか。下記の1～3の中から1つ選んでお答え下さい。  
また、平成20年度の売上額の増減に、最も大きな影響を及ぼしている要因は、販売数量の増減と販売単価の上昇・下降のいずれですか。下記の4～8の中から1つ選んでお答え下さい。

- |          |            |                  |
|----------|------------|------------------|
| (売上額)    | (売上額への影響)  |                  |
| 1. 増加    | 4. 販売数量の増加 | 7. 販売単価の下降       |
| 2. ほぼ横ばい | 5. 販売数量の減少 | 8. 販売数量・単価とも変化なし |
| 3. 減少    | 6. 販売単価の上昇 |                  |

□ 増加    □ ほぼ横ばい    □ 減少

□ 販売数量の増加    □ 販売数量の減少    □ 販売単価の上昇  
□ 販売単価の下降    □ 販売数量・単価とも変化なし



調査先の平成20年度決算の売上額は、最も多い回答は「減少」48.5%、次いで「横ばい」36.1%で、売上額の増減に最も大きな影響を及ぼしている要因は、「販売数量の減少」48.5%、ついで「販売数量・単価とも変化なし」19.8%という結果となりました。

## 問2

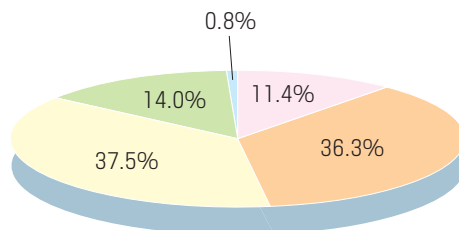
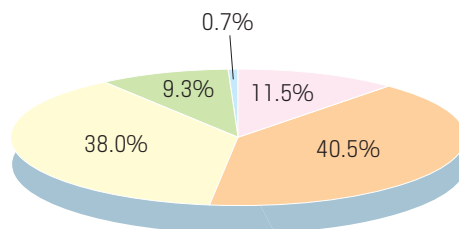
貴社の平成20年度決算の粗利(売上総利益)、及び当期利益は、平成19年度に比べておおよそどのようなようになった、もしくは、なると見込んでいますか。粗利(売上総利益)については下記の1～5の中から、当期利益については下記の6～0の中から、それぞれ1つ選んでお答え下さい。

- |             |      |                  |
|-------------|------|------------------|
| (粗利(売上総利益)) |      |                  |
| 1. 増加       | } 黒字 | 4. 赤字転換、赤字の継続    |
| 2. ほぼ横ばい    |      | 5. 分からない、把握していない |
| 3. 減少       |      |                  |

- |          |      |                  |
|----------|------|------------------|
| (当期利益)   |      |                  |
| 6. 増加    | } 黒字 | 9. 赤字転換、赤字の継続    |
| 7. ほぼ横ばい |      | 0. 分からない、把握していない |
| 8. 減少    |      |                  |

□ 増加    □ ほぼ横ばい    □ 減少  
□ 赤字転換、赤字の継続    □ 分からない、把握していない

□ 増加    □ ほぼ横ばい    □ 減少  
□ 赤字転換、赤字の継続    □ 分からない、把握していない

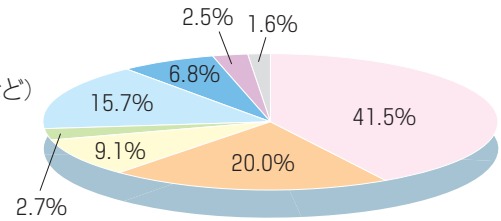


調査先の平成19年度と比較した平成20年度決算の粗利は、最も多い回答が「ほぼ横ばい」40.5%、次いで「減少」38.0%、「増加」11.5%、また当期利益について最も多い回答は、「減少」37.5%、次いで「横ばい」36.3%、「赤字転換・赤字の継続」14.0%という結果となりました。

問3

貴社の平成20年度決算で利益面の増減に影響を及ぼしている要因は何ですか。特に大きいものを、下記の1～8の中から3つ以内で選んでお答え下さい。

1. 販売金額(単価×数量)の増減
2. 仕入金額(単価×数量)の増減
3. 人件費の増減
4. 減価償却費の増減
5. その他の経費の増減
6. 金融費用負担の増減
7. 臨時的要因  
(資産売却益、災害損失など)
8. その他( )



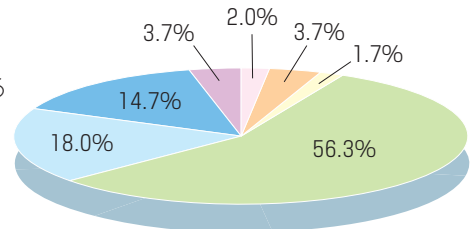
- |                |                |                     |          |
|----------------|----------------|---------------------|----------|
| 販売金額(単価×数量)の増減 | 仕入金額(単価×数量)の増減 | 人件費の増減              | 減価償却費の増減 |
| その他の経費の増減      | 金融費用負担の増減      | 臨時的要因(資産売却益、災害損失など) | その他      |

調査先の平成20年度決算で利益面の増減に影響を及ぼしている要因は、最も多い回答が「販売金額(単価×数量)の増減」41.5%、次いで「仕入金額(単価×数量)の増減」20.0%、「その他の経費の増減」15.7%という結果となりました。

問4

昨今の円高は、貴社の決算にどのような影響がありますか。次の中から1つ選んでお答え下さい。

1. 良い影響を受けている
2. やや良い影響を受けている
3. 今後良い影響が考えられる
4. 影響はない
5. 悪い影響を受けている
6. やや悪い影響を受けている
7. 今後悪い影響が考えられる



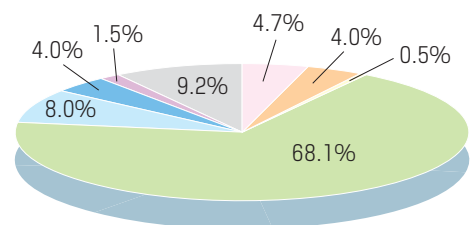
- |            |              |              |       |
|------------|--------------|--------------|-------|
| 良い影響を受けている | やや良い影響を受けている | 今後良い影響が考えられる | 影響はない |
| 悪い影響を受けている | やや悪い影響を受けている | 今後悪い影響が考えられる |       |

調査先の決算が円高により受ける影響は、最も多い回答が「影響はない」56.3%、次いで「悪い影響を受けている」18.0%、「やや悪い影響を受けている」14.7%という結果となりました。

問5

貴社では、今後の人員についてどのように対応する計画ですか。下記の中から最もあてはまるものを1つ選んでお答えください。

1. 正社員を増やす
2. パート・アルバイトを増やす
3. 派遣社員を増やす
4. 現状の人員は維持する
5. 正社員を減らす
6. パート・アルバイトを減らす
7. 派遣社員を減らす
8. 未定



- |         |               |          |            |
|---------|---------------|----------|------------|
| 正社員を増やす | パート・アルバイトを増やす | 派遣社員を増やす | 現状の人員は維持する |
| 正社員を減らす | パート・アルバイトを減らす | 派遣社員を減らす | 未定         |

調査先の今後の人員についての計画は、最も多い回答が「現状の人員は維持する」68.1%、次いで「未定」9.2%、「正社員を減らす」8.0%という結果となりました。